

「悪政中の悪政だ」

民主・藤井氏 新医療制度を批判

民主党最高顧問の藤井裕久衆院議員は25日夜、沖縄市民会館で開かれた民主党沖縄県第3総支部躍進パーティーで講演し、後期高齢者医療制度について「悪政中の悪政だ。保険は相互扶助であるべきだが、優遇どころか高齢者をいじめている」と批判。党として廃止に全力を挙げる考えを示した。

与党が揮発油税の暫定税率維持などを盛り込んだ税制改正法案に関し、30日にも衆院で再議決した場合の参院での首相に対する問責決議案提出について「早くやらないほうがいい。後期高齢者医療制度を廃止する法案を提出しており、少なくとも参院では可決するべきだ」と述べた。

また道路特定財源廃止について「できなければ政権交代の意味がない。命がけでやる」と強調。「国のあるべき姿の問題であり、最後は有権者に決めてもらう」と述べ、衆院の解散総選挙で国民に問うべきだと強調した。